

◆ 今週のコメント

- ・ レジオネラ症(肺炎型)の報告が1例(男性, 70歳代)あり, 症状は発熱及び肺炎です。レジオネラ肺炎は, 乳幼児や高齢者, 闘病中で抵抗力が低下している人が発病しやすく, 健康人でも疲労等で体力が落ちている時に発病することがあるため, 注意が必要です。
- ・ 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が2例(5歳未満の男児, 70歳代の女性)あります。昨年は15例の報告でしたが, 本年は累積報告数が39例となっています。年齢階級別にみると, 5歳未満 10例, 20歳代 1例, 30歳代 1例, 50歳代 1例, 60歳以上 26例となっており, 小児と高齢者に多く発症しています。ワクチンによる予防が重要となります。

◆ 今週のトピックス: <インフルエンザ>

京都市のインフルエンザの定点当たり報告数は17.72(1205例)で, 注意報レベルの「10」を超えました。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 二類: 結核 9例(肺結核 3例, その他結核 3例, 潜在性結核感染者 3例)うち喀痰塗抹陽性 1例
【1月以降の累積報告数 411例(肺結核 211例, その他結核 96例, 潜在性結核感染者 104例)うち喀痰塗抹陽性 104例】
- ・ 四類: レジオネラ症(肺炎型) 1例【1月以降の累積報告数 15例】
- ・ 五類: 侵襲性肺炎球菌感染症 2例【1月以降の累積報告数 39例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ ^a	インフルエンザ	17.72	1,205
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	9.12	374
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.29	53
	③ RSウイルス感染症	1.10	45
	④ 水痘	0.93	38
	⑤ 手足口病	0.56	23
眼科	流行性角結膜炎	0.40	4

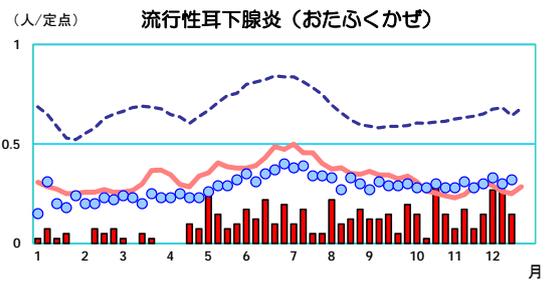
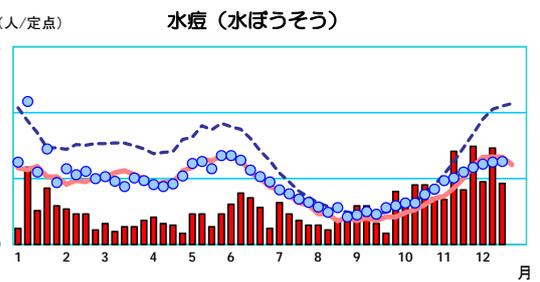
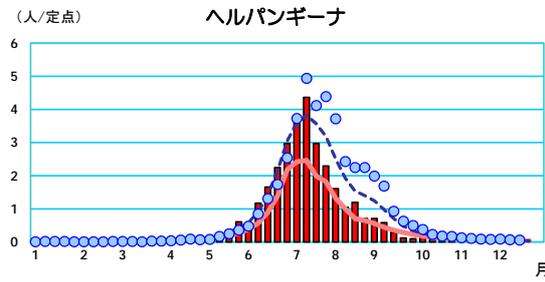
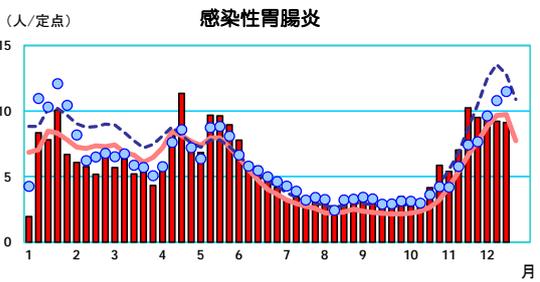
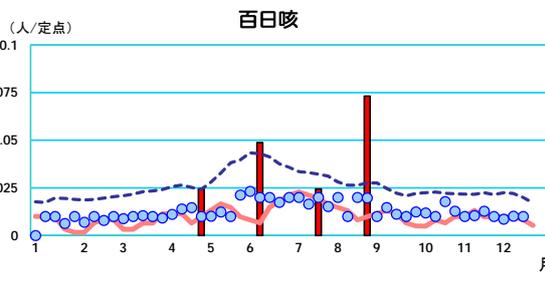
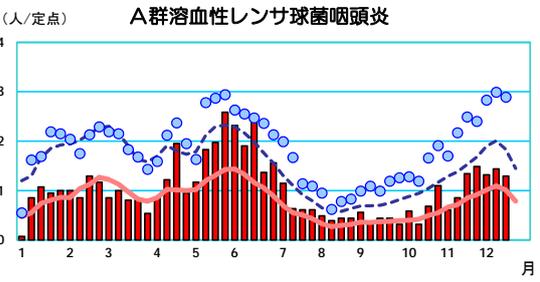
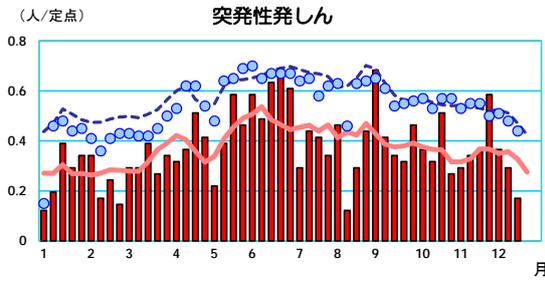
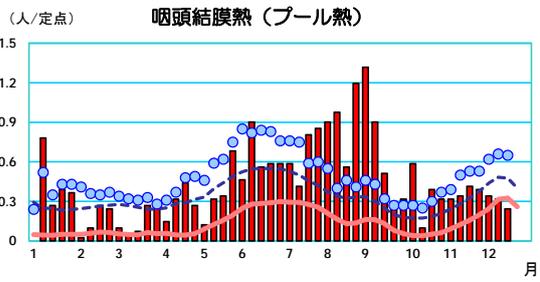
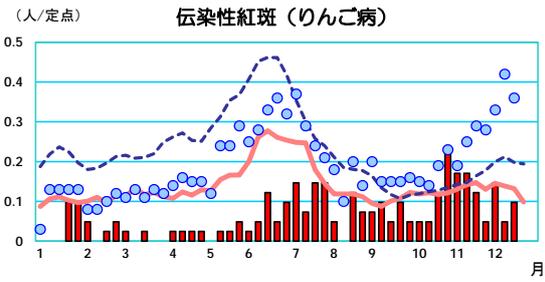
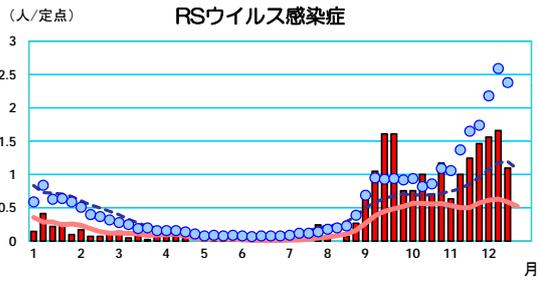
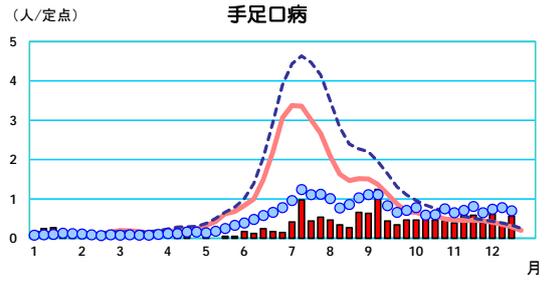
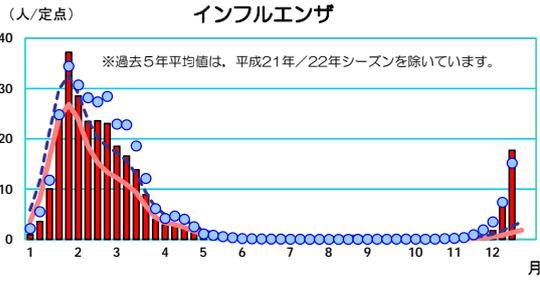
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <インフルエンザ>

付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは, 平成26年12月25日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。
また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。

ヘルパンギーナ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成26年）



第51週(12月15日～12月21日)トピックス: <インフルエンザ>

発生動向

京都市のインフルエンザの定点当たり報告数は17.72(1205例)で、注意報レベルの「10」を超えました。同時期の過去5年平均値を大幅に上回る報告数となっています。全国的にも23都道府県で注意報レベルを超えており、埼玉県では警報レベルの「30」を超えました。本市でもインフルエンザの流行は今後さらに拡大し、ピークを迎えるとみられます。

感染経路及び予防

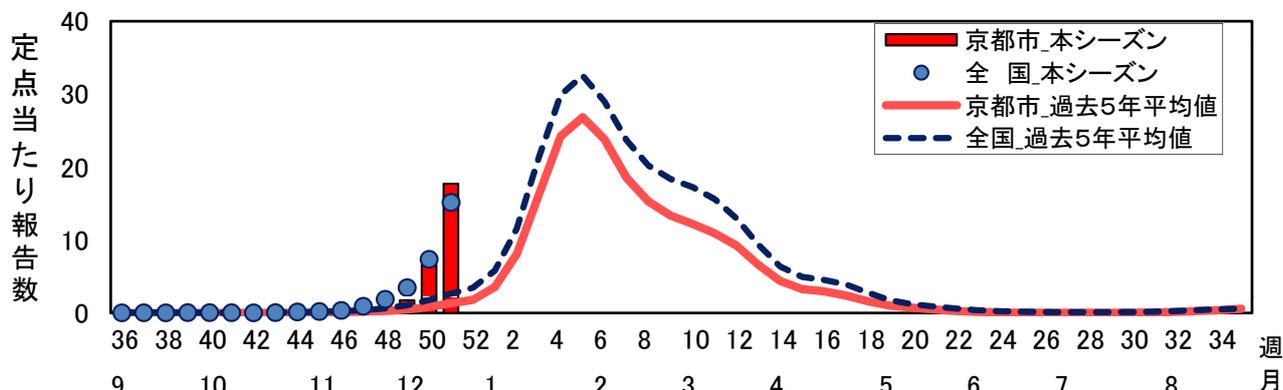
主な感染経路はくしゃみ、咳、会話等による飛沫感染であり、他に接触感染もあるといわれています。予防する方法は飛沫感染対策としての咳エチケット、接触感染対策としての手洗いが重要です。インフルエンザでは、感染者であっても全く症状のない不顕性感染例や感冒様症状のみでインフルエンザウイルスに感染していることに気付かない軽症例も少なくありません。特に、濃厚な接触機会の多い学校、幼稚園、保育園等、小児の集団生活施設においては、可能な限り職員も含め全員が咳エチケット、手指衛生を心掛けてください。

咳エチケットを心がけましょう

- 咳やくしゃみをするときは、ティッシュなどで口と鼻を覆いましょう。
- 咳やくしゃみが続くときは、マスクを着用しましょう。
- 使用後のマスクやティッシュは放置せず、すぐにごみ箱に捨てましょう。
- 手のひらで咳やくしゃみを受け止めたときは、すぐに手を洗いましょう。

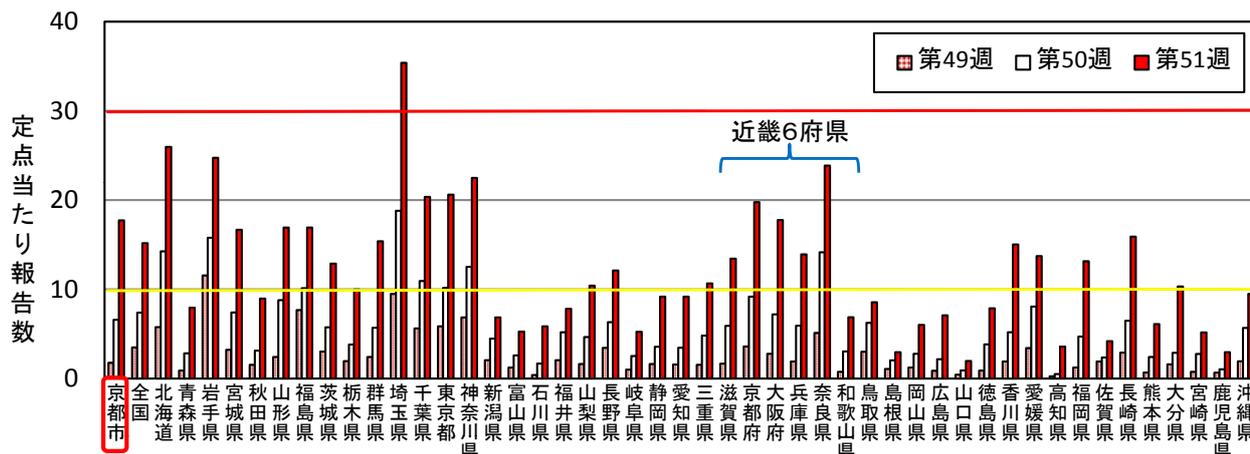


本市及び全国の定点当たり報告数の推移



※平成21年/22年シーズンは、インフルエンザ(H1N1)2009の影響で、例年と流行傾向が大きく異なるため、過去5年平均値の算出には使用していません。

都道府県別定点当たり報告数の推移



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成26年第51週

疾病,行政区別報告数

平成26年12月15日～平成26年12月21日

データ入手日:平成26年12月25日

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	44	4	1	1	9	-	-	1	-	-	-	-	-	-						
上京	59	5	-	2	13	-	3	-	-	-	-	-	-	-						
左京	112	2	1	2	61	8	1	-	-	-	-	2	-	-						
中京	70	6	-	2	19	-	1	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
東山	38	1	-	1	28	-	-	-	1	-	-	-	-	-						
山科	212	1	1	6	5	4	-	-	-	-	-	-	-	-						
下京	15	-	-	1	6	-	-	-	-	-	-	1	-	-						
南	192	-	1	7	33	7	1	-	1	-	-	1	-	-						
右京	169	16	2	14	47	9	7	-	1	-	-	1	-	3						
伏見	164	8	4	13	72	8	9	3	2	-	-	-	-	-						
西京	130	2	-	4	81	2	1	-	1	-	-	1	-	-						
京都市計	1,205	45	10	53	374	38	23	4	7	-	-	6	-	4	-	-	-	-	-	-

性,疾病,保健所別定点当たり報告数

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	6.29	1.00	0.25	0.25	2.25	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-						
上京	11.80	1.67	-	0.67	4.33	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-						
左京	16.00	0.50	0.25	0.50	15.25	2.00	0.25	-	-	-	-	0.50	-	-						
中京	14.00	2.00	-	0.67	6.33	-	0.33	-	0.33	-	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-
東山	12.67	0.50	-	0.50	14.00	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-						
山科	30.29	0.25	0.25	1.50	1.25	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-						
下京	5.00	-	-	0.50	3.00	-	-	-	-	-	-	0.50	-	-						
南	38.40	-	0.33	2.33	11.00	2.33	0.33	-	0.33	-	-	0.33	-	-						
右京	21.13	3.20	0.40	2.80	9.40	1.80	1.40	-	0.20	-	-	0.20	-	3.00						
伏見	14.91	1.14	0.57	1.86	10.29	1.14	1.29	0.43	0.29	-	-	-	-	-						
西京	18.57	0.50	-	1.00	20.25	0.50	0.25	-	0.25	-	-	0.25	-	-						
京都市計	17.72	1.10	0.24	1.29	9.12	0.93	0.56	0.10	0.17	-	-	0.15	-	0.40	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成26年第51週

年齢階級, 疾病別報告数

平成26年12月15日～平成26年12月21日

データ入手日:平成26年12月25日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	1,205	1	8	44	42	47	55	76	88	73	93	82	293	46	58	69	75	20	12	18	5
RSウイルス感染症		45	7	8	15	10	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		10	-	-	1	2	2	1	1	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		53	-	-	-	2	7	7	6	7	5	6	4	8	1	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		374	2	16	61	35	40	39	25	28	24	15	15	28	9	37	-	-	-	-	-	-
水痘		38	-	2	11	5	3	4	3	1	2	1	2	1	3	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	23	手	足	口	病	3	6	2	3	4	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		4	-	-	-	-	-	1	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		7	-	5	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		6	-	-	-	-	1	-	1	1	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

性,年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	17.72	0.01	0.12	0.65	0.62	0.69	0.81	1.12	1.29	1.07	1.37	1.21	4.31	0.68	0.85	1.01	1.10	0.29	0.18	0.26	0.07
RSウイルス感染症		1.10	0.17	0.20	0.37	0.24	0.10	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.24	-	-	0.02	0.05	0.05	0.02	0.02	0.02	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.29	-	-	-	0.05	0.17	0.17	0.15	0.17	0.12	0.15	0.10	0.20	0.02	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		9.12	0.05	0.39	1.49	0.85	0.98	0.95	0.61	0.68	0.59	0.37	0.37	0.68	0.22	0.90	-	-	-	-	-	-
水痘		0.93	-	0.05	0.27	0.12	0.07	0.10	0.07	0.02	0.05	0.02	0.05	0.02	0.07	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	0.56	-	0.05	0.07	0.15	0.05	0.07	0.10	-	0.05	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.10	-	-	-	-	-	0.02	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.17	-	0.12	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.15	-	-	-	-	0.02	-	0.02	0.02	-	0.05	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.40	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成26年第51週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成26年12月25日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1)	13	15	43	120	447	1,205
RSウイルス感染症	41	51	60	64	68	45
咽頭結膜熱	14	17	16	14	13	10
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	35	55	61	54	59	53
感染性胃腸炎	288	420	390	402	378	374
水痘	58	34	61	39	60	38
手足口病	27	24	16	25	15	23
伝染性紅斑	7	5	2	6	2	4
突発性発しん	14	15	24	15	12	7
百日咳	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	2	2	1	-	3	-
流行性耳下腺炎	7	3	6	11	11	6
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	5	2	5	1	2	4
細菌性髄膜炎 ※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4)	-	-	-	-	-	-
合計	511	643	685	751	1,070	1,769

性,週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1)	0.19	0.22	0.63	1.76	6.57	17.72
RSウイルス感染症	1.00	1.24	1.46	1.56	1.66	1.10
咽頭結膜熱	0.34	0.41	0.39	0.34	0.32	0.24
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.85	1.34	1.49	1.32	1.44	1.29
感染性胃腸炎	7.02	10.24	9.51	9.80	9.22	9.12
水痘	1.41	0.83	1.49	0.95	1.46	0.93
手足口病	0.66	0.59	0.39	0.61	0.37	0.56
伝染性紅斑	0.17	0.12	0.05	0.15	0.05	0.10
突発性発しん	0.34	0.37	0.59	0.37	0.29	0.17
百日咳	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	0.05	0.05	0.02	-	0.07	-
流行性耳下腺炎	0.17	0.07	0.15	0.27	0.27	0.15
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.50	0.20	0.50	0.10	0.20	0.40
細菌性髄膜炎 ※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4)	-	-	-	-	-	-
合計	12.72	15.69	16.67	17.23	21.92	31.78

※1 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 オウム病を除く。

※4 病原体がロタウイルスであるものに限る。